平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名　JBCCホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9889　URL　http://www.jbcchd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山田　隆司
問合せ先責任者 (役職名) 管理担当　(氏名) 岸本　肇　TEL 03-5714-5171

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,213	12.0	623	16.5	684	17.0	217	177.5
23年3月期第2四半期	39,484	0.8	534	47.5	585	41.5	78	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　283百万円　(486.9%)　23年3月期第2四半期　48百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.70	―
23年3月期第2四半期	4.54	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,096	14,259	34.7
23年3月期	41,751	14,199	31.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　13,204百万円　23年3月期　13,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	12.50	―	12.50	25.00
24年3月期	―	12.50			
24年3月期(予想)			―	12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	7.0	1,600	27.8	1,600	21.7	650	215.5	37.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	17,711,543 株	23年3月期	18,711,543 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	550,655 株	23年3月期	1,550,635 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	17,160,898 株	23年3月期2Q	17,317,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 9
販売の状況（連結） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年９月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興の動きが見えはじめたものの、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、海外経済の減速や急激な円高進行などから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の下、当グループといたしましても、今後のあるべきグループ体制の検討を進め、先般策定した中期経営計画「Innovate2013」（2011年度-2013年度）の達成に向けて、平成23年9月29日にグループ内組織再編の基本方針並びに首都圏におけるオフィスの統廃合について発表し、現在その具体化を進めております。

また、ビジネス面における取り組みとしては、価格・品揃え・サービスを追求した法人向けＥＣサイト「サプライズバンクドットコム」を開設し、インターネットを活用したプリンターサプライ専門店として、約4,500点の品揃えを低価格で提供し、お客様のご要望に沿ったサービスを提供できる体制を確立いたしました。さらに、障害・停電発生時の事業継続を支援するため、日々のビジネス活動において大量生成されるオフィス文書やメールなどの情報を、安全・確実・効率よくバックアップし、有事の際には迅速にリカバリーするソリューションである「AIバックアップソリューション」を発表いたしました。

当第２四半期連結累計期間における事業分野別の概況は、以下の通りです。

［情報ソリューション］

企業の情報システムの構築及び運用保守サービス等を行っている情報ソリューション分野では、サーバー及びＰＣといったハードウェア販売が堅調に推移するとともに、東日本大震災を受け事業継続（ＢＣＰ）や災害対策への企業の意識の高まりが継続し、運用サービスやデータセンター利用等のＢＣＰ案件が拡大いたしました。また、ＳＩ分野におきましては、ＥＲＰを中心としたパッケージ関連ビジネスや医療ソリューション関連ビジネスが伸長いたしました。これらの結果、売上高は300億24百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

［ディストリビューション］

パートナー企業様向けにハードウェア、ソフトウェア及びＩＴサービスなどの販売、並びにＩＴサプライ用品及びオフィス文具用品などの販売を行っているディストリビューション分野では、トナーをはじめとするプリンター消耗品に特化したＥＣサイト「サプライズバンクドットコム」の開設やパートナービジネスでの販売体制の強化や新規ビジネスパートナーの開拓を積極的に行うとともに、企業の底堅いＩＴ投資需要に支えられ、サーバー、ＰＣなどのハードウェアやソフトウェアといったシステム製品の販売が伸長した結果、売上高は127億16百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

［製品開発製造］

プリンターなどの情報機器及びＪＢグループ独自のソフトウェアの開発・製造・販売を行っている製品開発製造分野では、情報連携支援ソリューションやプリンティング支援ソリューションなどＪＢソフトウェアの販売が好調であり、新機種のインパクトプリンターの販売も順調に推移いたしました。一方、直販のビジネスにおいてはプリンターのＯＥＭが減少しましたが、供給先との新たな協業体制を確立しました。これらの結果、売上高は14億72百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の連結業績は、売上高442億13百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益６億23百万円（前年同期比16.5%増）、経常利益６億84百万円（前年同期比17.0%増）、四半期純利益は２億17百万円（前年同期比177.5%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億55百万円減少し、380億96百万円となりました。これは主に現金及び預金が24億44百万円、受取手形及び売掛金が７億88百万円、商品及び製品が３億５百万円減少したことによるものです。

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ37億15百万円減少し、238億36百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が８億73百万円、短期借入金が27億21百万円減少したことによるものです。

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ60百万円増加し、142億59百万円となりました。これは主に四半期純利益により２億17百万円増加し、配当金支払により２億14百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ24億51百万円減少し、53億16百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金の増加は７億27百万円（前年同期は１億27百万円の増加）となりました。増加要因としては、主に税金等調整前四半期純利益６億58百万円、減価償却費２億68百万円、売上債権の減少10億69百万円、減少要因としては、主に仕入債務の減少８億80百万円、法人税等の支払額６億５百万円によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金の減少は99百万円（前年同期は２億33百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出52百万円、無形固定資産の取得による支出42百万円によるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金の減少は30億80百万円（前年同期は９億15百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出28億40百万円によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

わが国の経済環境は、急激な円高進行や海外の金融情勢の不安定要因や景気の下振れ懸念等により、引続き先行き不透明な状況が継続するものと思われます。

このような環境にあって、企業のＩＴ投資も慎重化が続く中、当グループといたしましては企業の経営に役立つ、付加価値の高いソリューション＆サービスの提案を積極的に行いＳＩビジネス及びサービスビジネスの強化・拡大をすすめてまいります。また、お客様のニーズに合った、ＪＢグループならではのソフトウェアの開発や事業継続、災害対策、クラウドの活用等を推進し、収益の向上を図ってまいります。

以上を踏まえ、平成23年４月28日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,226	5,781
受取手形及び売掛金	16,112	15,323
商品及び製品	2,233	1,928
仕掛品	455	620
原材料及び貯蔵品	856	834
その他	3,509	3,495
貸倒引当金	△86	△63
流動資産合計	31,306	27,919
固定資産		
有形固定資産	2,140	2,029
無形固定資産		
のれん	1,965	1,813
その他	576	552
無形固定資産合計	2,542	2,365
投資その他の資産		
その他	5,942	5,954
貸倒引当金	△180	△173
投資その他の資産合計	5,762	5,781
固定資産合計	10,445	10,176
資産合計	41,751	38,096
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,639	8,765
短期借入金	4,299	1,577
未払法人税等	700	446
販売等奨励引当金	36	18
受注損失引当金	－	18
その他	5,588	5,653
流動負債合計	20,264	16,480
固定負債		
長期借入金	65	41
退職給付引当金	6,350	6,565
役員退職慰労引当金	46	44
資産除去債務	292	298
負ののれん	68	58
その他	463	348
固定負債合計	7,288	7,356
負債合計	27,552	23,836

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,687	4,687
資本剰余金	4,760	4,760
利益剰余金	4,899	4,211
自己株式	△1,072	△380
株主資本合計	13,275	13,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△75	△65
為替換算調整勘定	△10	△9
その他の包括利益累計額合計	△86	△74
少数株主持分	1,010	1,055
純資産合計	14,199	14,259
負債純資産合計	41,751	38,096

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	39,484	44,213
売上原価	31,465	35,875
売上総利益	8,018	8,338
販売費及び一般管理費	7,484	7,715
営業利益	534	623
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	16	17
受取保険料	19	28
貸倒引当金戻入額	17	31
その他	38	32
営業外収益合計	93	112
営業外費用		
支払利息	18	19
支払手数料	5	19
為替差損	18	11
その他	0	0
営業外費用合計	43	51
経常利益	585	684
特別利益		
会員権売却益	3	－
特別利益合計	3	－
特別損失		
会員権評価損	－	18
投資有価証券評価損	0	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	207	－
その他	12	0
特別損失合計	220	26
税金等調整前四半期純利益	368	658
法人税等	271	385
少数株主損益調整前四半期純利益	96	273
少数株主利益	18	55
四半期純利益	78	217

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	96	273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	9
為替換算調整勘定	△2	1
その他の包括利益合計	△48	10
四半期包括利益	48	283
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	31	230
少数株主に係る四半期包括利益	16	53

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	368	658
減価償却費	255	268
のれん償却額	83	141
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△17	△31
退職給付引当金の増減額（△は減少）	149	214
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△4	△1
販売等奨励引当金の増減額（△は減少）	△4	△17
受注損失引当金の増減額（△は減少）	－	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	207	－
受取利息及び受取配当金	△17	△19
支払利息	18	19
支払手数料	5	19
売上債権の増減額（△は増加）	35	1,069
たな卸資産の増減額（△は増加）	△331	161
仕入債務の増減額（△は減少）	△414	△880
その他	△312	△255
小計	18	1,365
利息及び配当金の受取額	16	9
利息の支払額	△18	△19
手数料の支払額	△7	△21
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	119	△605
営業活動によるキャッシュ・フロー	127	727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59	△52
無形固定資産の取得による支出	△35	△42
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
関係会社株式の取得による支出	△40	－
その他	△97	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	520	150
短期借入金の返済による支出	△1,000	△2,840
長期借入金の返済による支出	△78	△55
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△259	△214
少数株主への配当金の支払額	△6	△8
リース債務の返済による支出	△90	△112
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△915	△3,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,025	△2,451
現金及び現金同等物の期首残高	6,456	7,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,431	5,316

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	4,687	4,760	4,899	△1,072	13,275
当第２四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当	－	－	△214	－	△214
四半期純利益	－	－	217	－	217
自己株式の取得	－	－	－	0	0
自己株式の消却	－	－	△691	691	－
当第２四半期連結会計期間末までの変動額合計	－	－	△688	691	3
当第２四半期連結会計期間末残高	4,687	4,760	4,211	△380	13,279

４．補足情報

販売の状況（連結）

セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同期比（%）
情報ソリューション	30,024	6.9
ディストリビューション	12,716	29.2
製品開発製造	1,472	△5.7
合計	44,213	12.0